

1ターン
いんたびゅー

生き方変あるかも、 田舎暮らし

田舎暮らしに憧れてはいるけど、実際の暮らしは
どうなの? という声を聞きます。

そこで今号は吉賀町に移住して数年のお二人に
話をお聞きし、本音を語っていただきました。



有機農業をまちぐるみで進める
島根県吉賀町の情報発信紙です

新よしか通信

Vol. 25

www.town.yoshika.lg.jp



「農業は全くの初心者ですが、余った野菜を
産直に出荷することも、それから花の無農薬
栽培はあまりないんですよ。なら私が、とこ
れから取り組んでみたいです」

竹原有希子さん
(広島市出身)

主人が「きれいな川のそばで暮らしたい」とずっと夢を抱いていて、
じゃあ子どもがまだ小さいうちにと3年前に広島から移ってきました。
私はもともとグリーンコープの会員で、有機農業を進めている旧
柿木村のことは知っていましたし、馴染みもあったのでここに決め
ました。問題は主人の仕事でしたが、最初は広島職場まで通って
いたんです。でもさすがに通勤に疲れて、こちらにたまたまあった就職
先に転職しました。職業にこだわらない性分なのがよかったかな。子
どもは小学2年生を筆頭に3人いますが、地元の子どもより野生化し
ているんじゃないかと(笑)。そして近所の皆さんに育ててもらって
いると言ってもいいほど、よくしていただいています。それでも「子
どもの声を聞けるのがうれしい」と言っていただけ。他人との関係が
濃密ですが、私はそれが心地良いんです。畑もこちらに来て初めてや
りました。もう楽しい! トマト、ナス、キュウリ、ニンジン、ダイコン、
本当にできるんです。もちろん近所のおばあさんに教えてもらって
ですけど、大げさに言うと地球とつながっている気がする。食べるこ
とは生きることなんだ、食の安全はお金では買えないなあと思う
く思います。今どきクルマはあるし、インターネットもある。田舎暮
らしで不自由は感じないですよ。



吉崎彰一さん、清子さんご夫婦。「こちらに
来て生まれて初めて梅干しを漬け、おみそ作りも
習いました。次はお醤油や他の漬物を習いた
いです」と清子さん。

吉崎彰一さん
(下関市出身)

大阪の吹田市から夫婦で越してきて4年。本当に良かったと思っ
ています。私は運輸関係の会社を早期退職しました。自給自足にあこ
がれ二人で移住先を5年くらい、全国あちこち探し回っていたん
です。吉賀町に決めたのは、町の空き家バンク制度があったことと役
場の方が背中を押してくれたから。これ大切ですよ。そして落葉樹
の山と水質日本一の高津川もある。吹田では社宅に住んでいて敷地
に空地がいくらでもあったので畑をしていました。農薬や化学肥料
は使っていませんでした。吉賀町が有機農業を進めている町だと
知ったのは住んでからです。これも何かのご縁でしょうか。私たち
は年金で暮らしていて、仕事としての農業ではないのでマイペース
です。地域の集まりや作業、そして宴会なども出させていただけ
ます。楽しいですね。これでも近所では若手なんですよ(笑)。感
動したのは秋にある氏神様、大岡神社の夜神楽です。また土地柄
だけでなく地域の方の笑顔の美しさも素晴らしいですね。野菜もよく
いただくのでありがたいし、山菜も豊かですよ。あのまま大阪に住
んでいたら、こんな感動、感謝の充実した毎日はなかったでしょ
うね。

吉賀町での
田舎暮らし。
まずは私に
相談ください。



吉賀町役場企画課 よしか暮らし相談員
石黒智絵さん

私も1ターンのほやほやなので、皆さんの不安な気持ちや「そこが聞きたいの!」
という部分はよくわかります。問合せは結
構ありますね。年間100件くらいでしょ
うか。やはり有機農業をしたいと言われ
る方。そして吉賀町の水のきれいなこと
を知って問合せされる方が多いです。地
域で言うと、やはり広島の方が多いで
すね。ただ福島県からの問合せも多い
ようです。関東からの問合せも多いです。
田舎暮らしに、そして吉賀町に少しでも興
味のある方は、とにかく一度いらしてみ
てください。私が町をご案内してもいい
ですし、1ターンの方の声を直接聞いて
いただくこともできます。お試し移住施設
や各種制度についても気軽にお問合せ、
ご相談ください。

☎0856-77-1437 (吉賀町企画課)
吉賀町公認・移住交流ポータルサイト「吉
賀町で暮らし」(吉賀町公式ホームページ
からアクセスできます)
<http://yoshika-de-kurasu.net/>

毎月20日は、はつかりの市
ポイントがなんと5倍のお得デー!
さらに特売や試食販売もあります



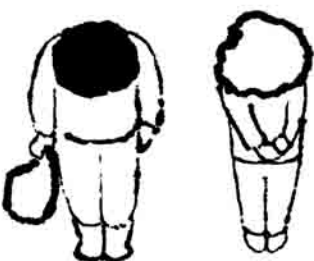
☎0829-20-2700
廿日市市宮内1550-1
10:00-18:00 年内無休

健康と有機農業の里
がきのき村

感謝をこめて創業祭!

産直市場かきのき村
かきのき村は旧柿木村の農
産物を直売するアンテナショ
ップとして2003年4月に
オープン。以来、安心安全な
食材を求める多くの方に支え
られてきました。
そのご愛顧に感謝して、今
年も創業祭を開催いたしま
す。春の山菜や生シイタケ、
春ダイコンなど旬の農産物を
特売。さらに日替わりで、天
然酵母パンやとうふ類などを
サブプライズ価格でご提供の予
定です。期間中はポイントも

2倍です! どうぞお立ち寄
りください。
『創業祭』4月6日(土)~14
日(日)



溪流釣りが解禁です

高津川では3月1日から溪
流釣りが解禁になりました。
今年も雪が少なかつたの
で例年より早くから奥部に入
ることができると釣り人に好
評です。そして6月1日(土)
午前5時からはいよいよあ
ゆりも解禁になります。高
津川はダムのない1級河川で
あり2年連続の水質日本一を
獲得。さらに地産産物の稚あゆ
放流100%を達成し、自然
環境保全などにも熱心に取り
組んでいます。
昨年からはあゆり年鑑
札に写真が必要になっていま
すのでご注意ください。運送免許証
組んでいます。

●吉賀町内の鑑札交付所
●澄川商店(六日市)・長藤商店
(七日市)・健康の里(柿木村)
大野原・原田屋旅館(柿木村)
柿木・エポックかきのきむら
(柿木村柿木)
☎0856-255-2911
(高津川漁業協同組合)

「溪流魚やまめ、こぎ等」対
象遊漁料 ● 年約年間
6000円、日券2000円、
「あゆ、うなぎ、溪流魚等」対
象遊漁料 ● 年約年間
12000円、日券3000
円

と同一サイズです。購入の
際に持参ください。
また、高津川漁協では、高
津川の天然あゆの現金買い取
りを今年も行います。漁協に
は全国の料理店などから多く
の問合せ注文があり、お盆ま
であゆが不足しています。釣
れすぎて余ったときはどうぞ
ご利用ください。

吉賀町ゴールデン・ウィーク特集

GWはシャクナゲが見ごろです



蓼野(たの)の川に沿って国道12号を鹿野方面に向かうと、捨河内地区の民家の裏山に、樹齢が約60年、約200本の見事なシャクナゲの群生があります。これらのシャクナゲは地域で大切に育てられてきたもので

「シャクナゲまつり」●日時 5月3日(金・祝)10時～16時 ※雨天決行 ●場所 II シャクナゲの里(六日市ICからクルマで約30分) ☎0856771437 (吉賀町企画課)

ゆららのレストランは特別メニュー

「ゆらら」のレストランはGW期間、メニューが変更になりますのでご注意ください。●ランチバイキング●期間 5月3日(金・祝)～6日(月・祝) ●期間内、レストランのランチはすべてバ

春の訪れはカタクリの花から

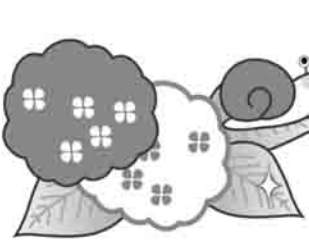
カタクリの花は春の季節として親しまれているユリ科の多年草です。吉賀町樋口地区にある「カタクリの里」は、地元の人々の手で大切に保護され、群落を維持しています。なにより里地にあり手軽に見られることから、毎年遠くから多くの人が見学に訪れます。開花は例年、3月下旬から4月上旬ごろまで。カタクリの花は日が当たると上向き



「カタクリまつり」●日時 5月3日(金・祝)10時～16時 ●場所 II 道の駅むいかい温泉

やくろは花苗イベント

アジサイ、クレマチス、金蓮花など、春から夏にかけて花を咲かせる鉢花の即売会を道の駅むいかい温泉の産直・物産館やくらで開催します。また、夏野菜の苗も併せて販売。当日は育て方などのアドバイスも行います。吉賀の自然の中で育てていますので元気です。



「紫陽花フェア」●日時 5月2日(木)～3日(金・祝)9時～16時 ●場所 II 道の駅むいかい温泉

雨乞い神事もと水源まつり

高津川の水源である大蛇ヶ池を中心に催される水源まつり。ワラで作った大蛇を大蛇ヶ池へ飛び込ませて、ほとりに立つ樹齢千年といわれる一本杉へ巻きつ



「水源まつり」●日時 6月16日(日)10時～15時 ※雨天中止 ●場所 II 水源公園(六日市ICからクルマで約15分) ☎0856771437 (吉賀町企画課)

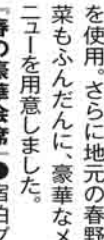
今年もやりますカタクリ弁当

「ゆらら」から県道16号で吉和方面にクルマで10分ほどの場所にカタクリの里があります。その可憐な花の開花に合わせて、レストランでは季節限定で今年もカタクリ弁当がメニューに加わっています。売上の一部をカタクリの保存活動に寄付。カタクリの花を使った天ぷらや酢のもの、そして地元産の豆腐やお米など、地域色たっぷりのメニューです。

「カタクリ弁当」●4月7日(日)まで ●1300円

春の会席は三重奏

レストランでは5月末まで豪華会席を春メニューに一新しています。テーマは肉の三重奏。地元生産者の山吹さんの鶏肉と秋川牧園(山口市)さんの豚肉、牛肉を使用。さらに地元の春野菜もふんだんに、豪華なメニューを用意しました。



「春の豪華会席」●宿泊プラン 大人1人1泊2食、12240円(1室2名平日) ●料理のみ1人6000円(3日前までに要予約) ※このほかゆらら会席、お

人気です500円ワンプレートバイキング

産直・物産館「やくら」はおかげさまで、この4月でオープンからまる3年を迎えます。そこで皆さまの日頃のご愛顧に感謝して、創業祭を開催します。当日は地域のこだわり食が集合。山吹ファームのジャージー牛アイスクリームや、そば粉十割の「心房そば」は手づくりせんざいなどの販売のほか、お餅つきも予定しています。そして何と云っても目玉は、ワンコイン(500円)でごはんと専用の食器

「八咫鹿伝説が 絵本になりました」 八咫鹿(やつろ)のしかやくろじか伝説とはこの地方に伝わるお話。8世紀、八咫の足、八咫の角を持つ怪物、八咫鹿が吉賀町の大岡山に居着き、空を飛び地を駆け回り人や家畜を襲っていました。そこで退治することになり軍人の江熊太郎が毒矢を命中させました。しかし断末魔の八咫鹿の悪気につれて死んでしまいました。人びとはたたりを恐れ神社を建立。現在町内に二つある「奇鹿(くしか)神社」がそれとされています。この八咫鹿は悪魔(あしか)と呼ばれていましたが、縁起が悪いと良鹿(よしか)となり、いまの町名にもなっている吉賀に転じてこのあたりの地方名となりました。

「エコビレッジかきのきむら」 ●4月10日(水) ●5月8日(水) ●6月12日(水) ※プールは毎週水曜日が休業です。

「ゆらら」4月5日の休館日 ●4月10日(水) ●5月8日(水) ●6月12日(水) ※プールは毎週水曜日が休業です。

「エコビレッジかきのきむら」 ●4月10日(水) ●5月8日(水) ●6月12日(水) ※プールは毎週水曜日が休業です。

「エコビレッジかきのきむら」 ●4月10日(水) ●5月8日(水) ●6月12日(水) ※プールは毎週水曜日が休業です。

道の駅かきのきむらで、春まつり

道の駅かきのきむらでは「春まつり」●日時 3月24日(日)10時～15時 恒例の春祭りを開催します。春の朝市として野菜や特産品の販売のほか、杵のもちつきイベントを実施。甘酒の振る舞いも予定しています。また31日(日)まではお隣りのふれあい会館で、町内の園児が作ったかわいいおひな様を展示しています。ぜひお立ち寄りください。

「ただいま夜営業中。新サービスも続々」 道の駅かきのきむらの新しい食事施設「ごはん」は地元産の精米したてを使用。またお味噌は地元加工グルーブの手づくりの懐かしい味。いずれもごはん屋自慢の看板アイテムです。

「特産品販売所かきのきむら」 ●9時～18時 休館中無休 ☎08567798024 (ごはん屋かきのきむら) ☎08567792181 ●11時～21時30分ラストオーダー(21時) ※日曜のみ14時30分まで 休館中

